



バンコク便り



1. はじめに

過日、荘内銀行が事務局を務める山形県タイ友好協会の年次総会が開催されました。設立から1年が経ち、仙台ーバンコク直行便の就航が実現するなど、山形とタイとの距離はますます近くなってきております。今後もタイとの交流を促進し、観光及びビジネスの両面でより深い繋がりができるように取り組んで参ります。引き続き皆さまのご協力・ご支援を賜りますよう、今後ともよろしくお願ひ申し上げます。



山形県タイ友好協会 2019 年度定時総会

2. 当地ビジネス情報

(パーツ高とタイでの物価事情について)

最近のタイ経済は約6年ぶりのパーツ高に直面しています。2017年前半に1ドル=35パーツ前後で推移していたパーツ・ドル相場は2019年6月に1ドル=30パーツ台に達し、輸出企業の間ではパーツ高に対する懸念が強まっています。パーツ・円相場でもパーツ高が進んでおり、2019年11月には1パーツ=3.6円まで達しており、2011年頃は1万円を両替して約4,000パーツだったものが今では約2,700パーツ程です。

そんなパーツ高の状況も踏まえ、タイでの物価事情についてお伝えします。一般に多くの日本人は、タイは物価が安いというイメージをお持ちなのではないでしょうか。特に飲食面ではミネラルウォーターは約6パーツ(≒21円)、屋台での食事は約50パーツ(≒180円)等と確かに安いものはあります。とは言え、毎日、屋台飯で生活することができればかなりの節約となるでしょうが、香辛料や油っこのタイ料理を毎日食べていると味に飽きたり、お腹を壊すことがあるため、ほとんどの日本人駐在員はそのような生活ができていないのが現状です。バンコクでは日本食をはじめ世界各国の料理が気軽に食べることができ、日本人同士での食事となるとそのようなレストランで食事をする機会が多くなります。その場合、定食で約300パーツ(≒1,080円)、居酒屋で約1,500パーツ(≒5,400円)となり自然と出費が多くなります。

また一年中温暖なタイではゴルフをする方も非常に多く、取引先のコンペ等で毎週末のように行っている方もいます。一般的なゴルフコースでは1回約3,000パーツ(≒10,800円)となり、決して安いとは言えないのが現状です。駐在員や出向者を派遣する際にはこのように日本と当地の感覚のズレという一面も意識されることが求められてくるのではないのでしょうか。

3. 現地トピックス

(ロイクラトン祭りの開催)

11月11日、タイで最も美しい祭りのひとつと知られる「ロイクラトン祭り」が開催されました。川の恵みへの感謝の気持ちを表し、自らに宿る穢れ(けがれ)を清めるため、ロウソク、線香、花などで美しく飾られたクラトン(灯籠)を川に流すお祭りが全国各地で行われます。

一方、タイ北部のチェンマイではコムローイと呼ばれるランタンを空へ打ち上げるイベントが開催され、一斉に打ち上げられたコムローイは幻想的で息を呑む美しさでした。この時期のチェンマイは世界中から観光客が集まり、非常に多くの日本人観光客も来るなど注目度が高いイベントでもあります。チェンマイには山や自然なども多く、高層ビルが建ち並ぶバンコクとは違った雰囲気を楽しむことができるため、個人的には非常に落ち着く街でした。

なお、一斉打ち上げ会場には入場チケットが必要となることや、チェンマイ行きの航空券、ホテル等もすぐに予約でいっぱいになるほど人気のため、ご検討の際はお早めにご手配することをお勧めいたします。



打ち上げられた無数のコムローイ